

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 50 2016.6.10

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会
波佐文化協会
能海寛研究会
ほたる湯館G・ゴルフ場

「学べる博物館」探検隊リレー講座 ③

石峰&抱月のふるさと「地域まるごと博物館」の地域を歩き、体験学習をする「探検隊リレー講座」第3弾「たたら製鉄関係遺跡」を歩きます。小雨決行。

事前の申し込みは不要です。弁当をご持参ください。

【第3回講座】

「たたら製鉄関係遺跡」を観て歩く

日時 平成28年7月2日(土) 午前9時～午後2時

集合場所 浜田市金城町波佐 ときわ会館

参加料 500円(資料代など) 別途資料館入館料金

主催者 地域研究センター協議会

お問合せ 携帯電話 090-4697-2818(事務局)

【波佐地方のたたら製鉄】

石見地方で唯一のたたら資料館である浜田市金城町歴史民俗資料館には、たたら関係古文書、鉄穴場絵図、たたら場絵図、鍛冶屋絵図、たたら関係用具が沢山収蔵展示されている。展示品されている絵図の中には、浜田市金城町波佐の泊小屋鉦・泊小屋鉄穴は、弘化3年(1846)

に操業していた。この鉄穴絵図は、たたら経営者・三浦彦太郎義能が弘化3年に津和野藩へ運上の申請のため金城町の南南西の方角に位置する弥畝山の裾野にある。弥畝山・鍋滝山を水源に山裾に鉢巻を回したように彩色で描かれた絵図面で、運上前の地形と運上後の地形が紙を重ね貼り(23.8cm×17.0cm,)してある。泊小屋鑪の最盛期は、150名程度の人が住み込み一大集落で賑わっていたという。同町内の鉄穴場は、泊小屋鉄穴など17箇所が確認されている。

金城町内のたたら生産遺跡は、86箇所が確認されている。この中で、図面として残っているものに栃提(下)鉦は、金城町波佐にあり、吹小屋81坪、下木屋5軒、銚池4坪、合計7箇所148坪。田野原鉦は、金城町小国にあり、吹木屋132坪、銚池、詰所36坪、下木屋8軒、合計11箇所255坪。展示品の全ての鉦絵図を見ると、吹木屋の大小は別として、どの鉦場も銚池を伴っていることが証明されるのである。

今回の講座のコースは、金城歴史民俗資料館⇒栃下鉦跡⇒鍋滝鉦跡・金屋子神社・カツラの樹⇒泊小屋鉦跡・鍋滝鉄穴⇒桂迫鉦跡⇒大潰鉄穴を見学します。

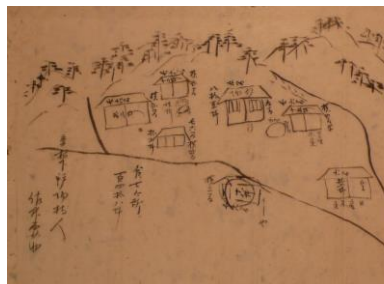
なお、桂迫鉦では、吹小屋全体の縄張りや勘場の炉・間取が易の方位(吉凶)によって決められた古文書を基に現地で位置確認をしたいと計画しています。



浜田市金城歴史民俗資料館



鍋滝鉄穴の絵図



栃下鉦の山内図



鍋滝鉦のカツラの樹